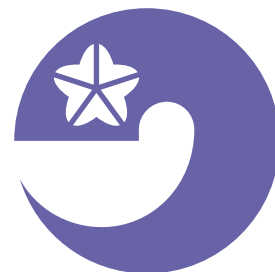


第
31
号

大津町

OZUMACHI GIKAI DAYORI

議会だより



平成17年 2月1日

発行/大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会
〒869-1233
熊本県菊池郡大津町大字大津1233
☎(096)293-3111



大津の市街地を望む（国道325号線より）－大津の風景⑦

ガイドライン
12月定例議会

定例会報告	-----	P 2
常任委員会 Q and A	-----	P 3
請願・陳情	-----	P 4
研修報告	-----	P 5
編集後記・議会の動き	-----	P 6

議員定数2減を可決 次回選挙より18人に

12月定例会

大津町議会議員の定数条例の一部を改正する条例 提案理由

補助金削減、地方交付税の見直し、国税から地方税への税源委譲が同時に進められている、政府の三位一体改革の中にあつて、大津町としても近い将来直面するであろう行財政問題を、議会自らが率先して範を示し、議会議員の定数削減を提案いたします。現在20名の定数を2名減じて、18名にするものです。

「真の地方分権の確立を求め地方交付税の確保を求める」

政府に意見書提出

十二月定例会を十四日から十七日まで四日間の会期で開き、各会計補正予算・条例改正などを審議しました。

一般会計補正額は、二億五千九百九十二万九千円の追加で、主なものは林道古城線工事請負費一億

地方交付税とは？

自治体に欠かせない財源

全国のほとんどの自治体の財政は、独自の税収だけでは運営できません（東京都や一部の市町村は例外）。自治体の不足する財源を保障するため、国に集められた国税の一部を全国の自治体に配分するのが地方交付税です。

都道府県・市町村などに配分される交付税総額は約二十兆円ほどですが、国は、十六年度の交付税総額を二兆九千億円削減（平均一二％）しました。

これでは、地方分権どころではない、ということで地方自治体は、強く抗議の声を上げています。

二千五百十九万八千円、護川小の障害児用トイレ増設などが提案されました。

審議の結果、補正予算・条例改正など全員賛成で可決しました。陳情五件、請願三件のうち陳情三件を採択しました。

議員発議で「大津町議会議員の定数条例の改正」が提案され、賛否討論の後、多数賛成で可決しました。次の選挙から定数二十名が十八名に減員することになります。また「常任委員会条例改正」も多数賛成で可決。総務常任委員会に議案の多数が集中していたため、委員会の審議分野を再編し、所属

委員も二年交代としました。

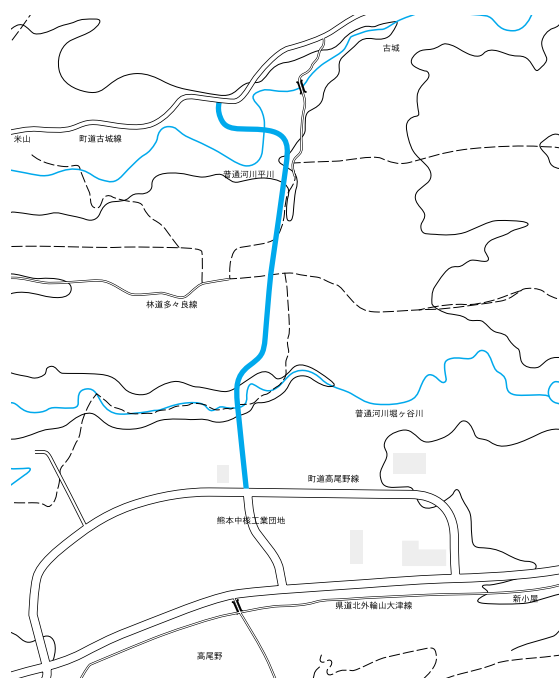
「平成十七年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書」を全員賛成で可決、政府に意見書を提出します。

政府は、地方自治体に相談もなく十六年度の地方交付税を総額で約三兆円（一二％）も削減しました。

これ以上地方交付税の削減が続けば、ほとんどの自治体の財政は破綻しかねません。

意見書は「国の三位一体の改革による地方自治体への交付税総額の削減は認められない」事を政府に強く求めるものです。

林道古城線開設工事に着手 平成17年度完了予定



委員会報告

総務文教

Q 現在スクールバスは何台あるか。生徒の通学送迎外の利用規定はあるのか。

A 大型二台、中型一台です。通学外の利用規定はありませんが、そのつど学校から文書により申請するようにしています。

Q 小、中学校の要保護、要保護児童援助費が年々増加しているが、原因は何か。国の補助はいくらか。



町のスクールバス

A 援助児童数の増加は不況によるものが多いと思われる。国の補助は二分の一です。

Q その申請の手続きに民生委員の意見は絶対必要か。

A 国の指導では民生委員の意見をつけるようになっていますが、最終的には教育委員会が決定します。

Q 災害対策は万全か。

A 大雨対策はほぼ万全と考え

るが、地震に対しては防災訓練等対策を進めます。

建設

Q 歳出で道路維持費の委託料百七十万円は。

A 本田技研南側準用河川大谷川除草伐採業務です。

Q 毎年行っているなら、当初予算で計画出来ないか。

A 当初予算で実業団女子駅伝と関連して予算化を検討して行きたい。

Q 道路新設改良費の原材料費

の四百三十万円は。

A 室塘町線景観整備事業分で、県が工事をする為の原材料分を負担するものです。

Q 都市計画総務費の百九十九万八千円の補助金は。

A ユニバーサルデザイン建築物の整備促進のための、多目的トイレなどの整備に関する助成で、事業費に対し、県と町が助



室塘町線の整備工事

成するものです。

Q 公共下水道費の繰出金八万四千円の増額は。

A 公共下水道特別会計の人員費によるものです。

経済



赤牛像のイメージ

Q 鳥獣害駆除補助金でカラス駆除は対象になっているのか。また、二月からの猟期外となるが補助の対象になるのか。

A カラスの分は基本額に算入されております。二月以降の猪駆除分は三月補正で考えたい。

Q 畜産事業費で、あか牛銅像建立補助金六〇万円の目的と根拠は。

A 熊本の牛肉としての赤牛を広くPRするため県畜産農協連合会を中心に建立をされるもので、農林水産省の照会で三社からの見積もりと建立の運びとなりました。

Q 工業用水道に関する日量三〇〇〇mから四〇〇〇mに上げる計画になっているが、現在の給水能力は、どの位あるのか。

また、今後の使用量は。

A 今後、五ヶ年間の需要量の見込アンケート調査では、今後三ヶ年間の予想として三社が増加する見込みです。したがって今回の補正では取水ラインの距離も短く、経費の面で有利と思われる。

請願・陳情

	件 名	審査の結果	
請 願	H I ヒロセ東側農地の整備開発等に関する 請願書 (大塚勝博他 1 名)	継続審議	
	W T O ・ F T A 交渉に関する請願書 (西本隆敏他 1 名)	継続審議	
	「食料・農業・農村基本計画」見直しに関 する請願書 (西本隆敏他 1 名)	継続審議	
陳 情	予算等に関する要望書 (宇都宮誠他 1 名)	継続審議	
	陳情書 (立野ダム関連事業に関する陳情に ついて) (宇都宮一誠他 2 名)	採 択	全員賛成
	陳情書 (建設に働く仲間と地域経済を救う ルールづくりについて) (西中茂宣他)	採 択	全員賛成
	大津町営コートの夜間照明に関する陳情書 (坂本恵一郎)	採 択	全員賛成
	陳情書 (バス路線の開設について) (鈴木信次他)	継続審議	

(5)



商店街振興策、街路を視察（朝霞市）

経済委員会

期 日 16年10月12日～14日

研修地 神奈川県小田原市
埼玉県朝霞市

目 的 企業誘致の優遇施策について
商店街振興の施策について

常任委員会研修報告

建設委員会

期 日 16年10月12日～14日

研修地 埼玉県北葛飾郡栗橋町
" 南埼玉郡白岡町

目 的 栗橋町駅橋上化事業について
農業集落排水事業について



農業集落排水污水处理場を視察（白岡町）



NPO委託の学童保育の現地（空教室）を視察（板橋区）

総務文教委員会

期 日 16年10月12日～14日

研修地 長野県茅野市
東京都板橋区

目 的 パートナーシップのまちづくり事業
について
学童保育事業・空き教室等の利活用
等について

議会の動き

9月

- 25日 平成16年度菊池郡町村議会議員グラウンドゴルフ大会
- 27日 第17回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
第14回菊池南部四町合併協議会

10月

- 4日 議会常任委員長・議会運営委員長研修会（熊本市）
- 5日 第18回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
- 6日 総務文教常任委員会
- 7日 平成16年第2回菊池広域連合議会定例会（菊池市）
- 12日～14日
経済常任委員会行政調査（神奈川県・埼玉県）
建設常任委員会行政調査（埼玉県）
総務文教常任委員会行政調査（長野県・東京都）
- 18日 第19回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
- 19日 熊本県町村議会議員研修会（熊本市）
- 20日 第3回菊池地域消防広域再編推進協議会（菊池市）
第20回菊池南部四町合併協議会大津町委員会
第15回菊池南部四町合併協議会（菊陽町）
- 29日 第24回市町村合併問題調査特別委員会

11月

- 4日 全員協議会
- 12日 城北三郡（菊池・鹿本・玉名）町村議会議員研修会（植木町）
- 15日～18日
大津町児童虐待防止ネットワーク連絡会議代表者会議
第48回町村議会議長全国大会並びに菊池郡町村議会議長視察研修（東京都・長野県）
- 19日 合併に関する住民説明会
- 22日 熊本空港周辺四ヶ町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会
- 23日 全員協議会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 故大津町長大村直純儀町民葬

12月

- 3日 議会運営委員会
- 14～17日 平成16年第11回大津町議会定例会

迎春



ほくホクと温かいー！

OZU

傍聴席から

各常任委員会の研修報告は、研修の目的、研修地選定の理由及び成果が述べられていないので、町民の立場から見ても、研修の必要性がわかりにくい。したがって、前記の説明を加えられれば、更に研修成果とともにその必要性について町民の理解が得られるものと考えます。



4年間ご愛読ありがとうございました
（最後の編集作業を終えて）

委員 荒木 俊彦
副委員長 月尾 純一朗
委員 手嶋 靖隆
委員 大田 黒英生
委員 坂本 典光

議会広報編集
特別委員会

瑠璃も玻璃も照らせば光る

瑠璃とは青い色の宝石。玻璃とはガラスの古名である。昔はガラスも貴重品でめずらしがられたが、それでも宝石とは光り方が違う。
この文句の原句は「……照らせば分かる」であり、光を当てるとその違いが分かる、ということわざだった。おのおの、もって生まれた性質のようなものがあるから、ことにのぞむとその差があらわれるという意味である。
その原句が変じて「……照らせば光る」となり、意味も瑠璃も玻璃も照らせば光るから同じようだと変わってしまった。
江戸時代、当時の士農工商という身分の差別はあっても、人間としては変わらないという庶民の間観がうかがわれるようである。

この議会だよりはリサイクル推進のため
古紙一〇〇%の再生紙を利用しています。